

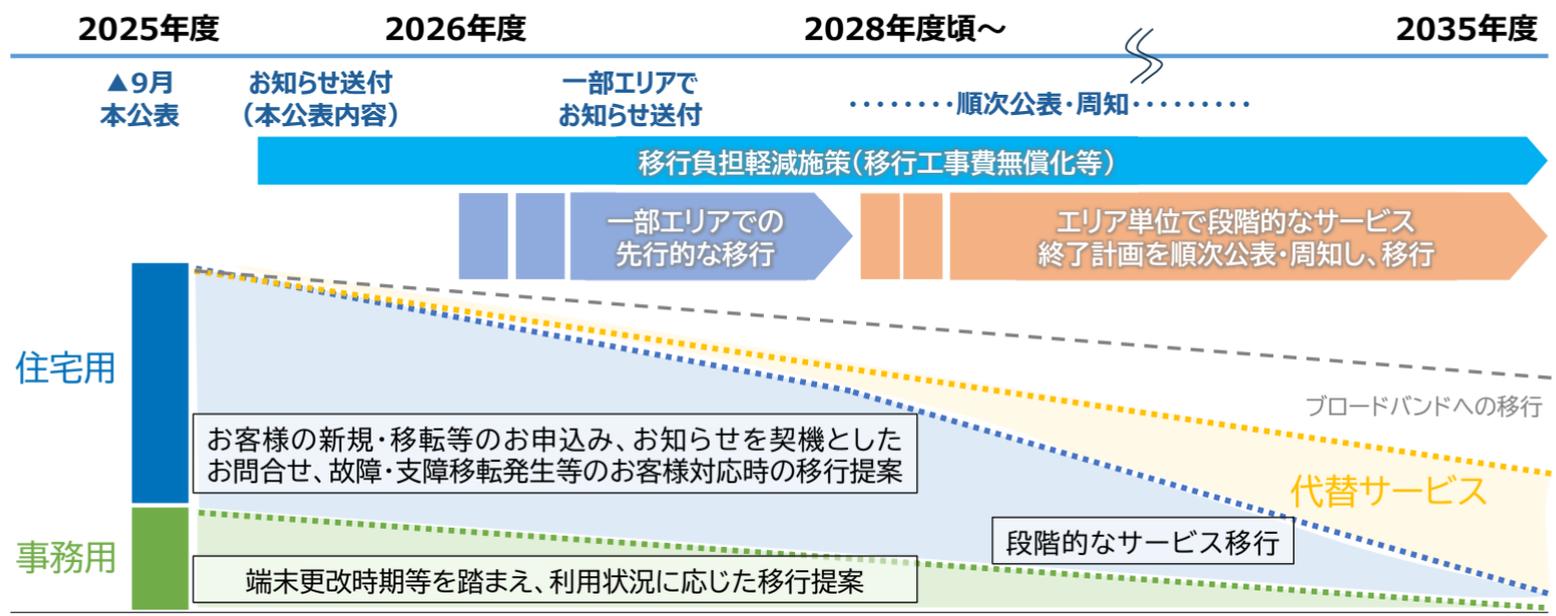
第3回固定電話サービス 移行円滑化委員会 NTT東西 説明資料

2025年11月17日

■ 一部エリアでの先行的な移行について

サービス移行のステップ

- 代替サービスへの移行は、まずは、お客様の新規・移転等のお申込み、お知らせを契機としたお問合せ、故障・支障移転発生等のお客様接点をとらえて、代替サービスへの移行提案を実施
- 法人のお客様には、端末更改タイミング等を踏まえ、利用状況に応じた移行提案を実施
- 一部エリアでの先行的な移行におけるお客様対応状況等を踏まえ、エリア単位で段階的なサービス終了計画を順次公表・周知し、移行提案を実施



(参考)お知らせ送付の内容



NTT東日本から重要なお知らせ

今後の固定電話サービスについて

メタル設備を利用した加入電話について、利用の減少や老朽化した設備の維持限界を踏まえ、2035年頃までに、光回線/モバイル回線を用いたサービスへの移行を段階的に実施することで、引き続きお客様が安心して固定電話をお使いいただける環境を維持したいと考えています。

また、お客様のご要望に応じて、光ブロードバンドサービスをご提供することで、ブロードバンドの普及拡大を推進してまいります。

「加入電話」「加入電話・ライトプラン」の基本料金(回線使用料)の改定について

利用の減少や物価の上昇などを踏まえ、「加入電話」「加入電話・ライトプラン」の基本料金(回線使用料)を改定いたします。

<改定日> 2026年4月1日(水)ご利用分から
<改定内容> 事務用：一律+330円(税込)、住宅用：一律+220円(税込)

1 代替サービスのご案内について

- 当社は、メタル設備を利用した加入電話サービスとして、光回線電話^{※1}/ワイヤレス固定電話^{※2}/ひかり電話^{※3}のいずれかをご提供いたします。
- お客様のご利用環境やご要望に応じて、代替サービス^{※4}をご案内いたします。
- 代替サービスへの移行にあたっては、お客様からの申し込み/工事が必要になります。



※1 光回線電話は、全国のフレッツ光提供エリアで提供可能です。
 ※2 ワイヤレス固定電話は、制度・単価が安い次期、全国で順次開始予定です。
 ※3 ひかり電話は、フレッツ光/光コラボレーション[®]をモジュールをご利用中またはご利用希望の方に提供いたします。インターネットのご利用は、プロバイダーとの契約/料金が必要です。
 ※4 サービス提供エリアであっても、設備状況などによっては、サービスをご利用いただけない場合があります。無停電電源装置(UPS)などをご準備いただくことで、停電時でもご利用いただくことが可能です。0366などの電気通信事業者を指定した発信など、一部接続できない番号があります。(詳細については、当社ホームページをご確認ください。)

2 代替サービスへの移行のステップについて

- お客様の新規/移転などのお申し込み、お知らせを契機としたお問い合わせ、故障発生時などのお客様と接点をとらえて、代替サービスへの移行提案を実施いたします。
- 設備老朽化などが進んでいる一部のエリアでは、先行的に代替サービスへの移行対応^{※5}を実施いたします。
- 一部のエリアでの先行的な移行におけるお客様ご対応状況などを踏まえ、エリア単位で段階的なサービス終了計画を順次公表/周知し、代替サービスへの移行提案をいたします。

2025年度 2026年度 2027年度 2028年度頃～ 2035年度

移行負担軽減施策(移行費用無料など)

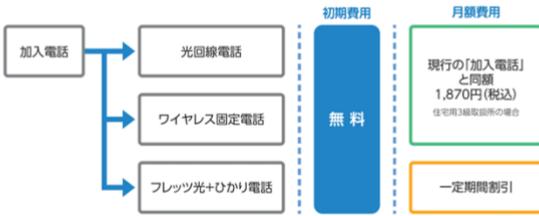
一部エリアでの先行的な移行

エリア単位で段階的なサービス終了計画を順次公表・周知し、移行

※5 対象となるお客様には当社から書面などでお知らせいたします。

3 加入電話から代替サービスへの移行費用について

- お客様^{※6}へご負担をおかけすることの無いよう、代替サービスへの移行に係る初期費用は無料^{※7,8}といたします。
- 加入電話から移行するタイミングでフレッツ光を新たにご契約いただいたお客様には、月額利用料の一定期間の割引も実施予定^{※8}です。



※6 加入電話を利用中止中のお客様を含みます。
 ※7 適用条件については、当社ホームページをご確認ください。
 ※8 フレッツ光+ひかり電話への移行における初期費用無料化および一定期間の月額割引施策については、準備が整い次第、開始いたします。

4 代替サービスのお申し込みについて

ご利用されたい代替サービスに応じて、以下の受付窓口にご連絡ください。

サービス種別	受付窓口
当社の固定電話のみのご利用をご希望のお客様 <ul style="list-style-type: none"> ●光回線電話 ●ワイヤレス固定電話 	<ul style="list-style-type: none"> ● Web受付窓口： https://web116.jp/shop/annai ● 電話受付窓口： 0120-279-116 受付時間：午前9時から午後5時 (土日・年末年始12/29-1/3を除きます)
当社のブロードバンドサービス+固定電話のご利用をご希望のお客様	<ul style="list-style-type: none"> ● Web受付窓口： https://flets.com/application ● 電話受付窓口： 0120-116116 受付時間：午前9時から午後5時 (土日・年末年始12/29-1/3を除きます)
他事業者の固定電話サービスのご利用をご希望のお客様	各事業者へ直接お問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お問い合わせのないようお願いいたします。

※9 フレッツ光+ひかり電話への移行における初期費用無料化および一定期間の月額割引施策については、準備が整い次第、開始いたします。

5 お客様にご留意いただきたい事項について

- 代替サービスへの移行後も、現在ご利用中の電話機はそのままご利用いただくことが可能^{※10}です。
- 代替サービスへの移行にあたっては、お客様からのお申し込み/工事が必要になります。(移行に係る初期費用は無料^{※11}です。)
- エリア単位のサービス終了時は、当社から書面などでお知らせします。

代替サービスへの移行に関してご不明点がございましたら、以下にお気軽にご相談ください。

☎ 電話 0120-279-116 受付時間：午前9時から午後5時
(土日・年末年始12/29-1/3を除きます)
※電話番号をお確かめのうえ、お問い合わせのないようお願いいたします。

🌐 WEB <https://flets.com/2035denwa/>

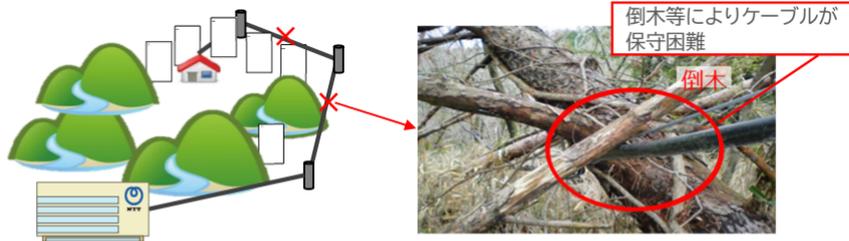
※10 電話機の一部機能が利用できなくなる可能性があります。
 ※11 適用条件については、当社ホームページをご確認ください。
 フレッツ光+ひかり電話への移行における初期費用無料化および一定期間の月額割引施策については、準備が整い次第、開始いたします。

先行実施エリアにおける提供終了・移行のイメージ

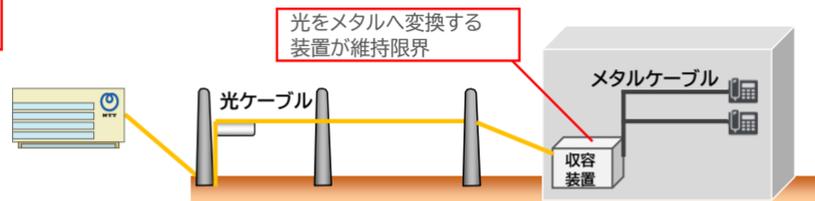
- 既に老朽化が進み設備更改が急務となっている一部エリアや、被災・支障移転等でメタル設備の再敷設が必要となったエリアにおいては、**先行的に代替サービスへの移行対応を実施**
- 計画的に対象エリアの設定を行う場合(設備老朽化等)、当該エリアでは、**複数回の周知(書面送付等)から一定期間経過後に、加入電話(メタル)の新規受付停止及びサービス終了を予定**
- 被災・支障移転等エリアでは、サービス復旧時にお客様周知の上、加入電話(メタル)でなく、代替サービスを提供**
- 先行実施エリアでのお客様対応状況等を踏まえ、**将来予定する全国での段階的なサービス移行計画を具体化**

■対象エリア

例1)メタル設備老朽化、技術者減/遠距離で保守に支障があるエリア



例2)局外収容装置の維持限界を迎えているエリア(都市部含む)

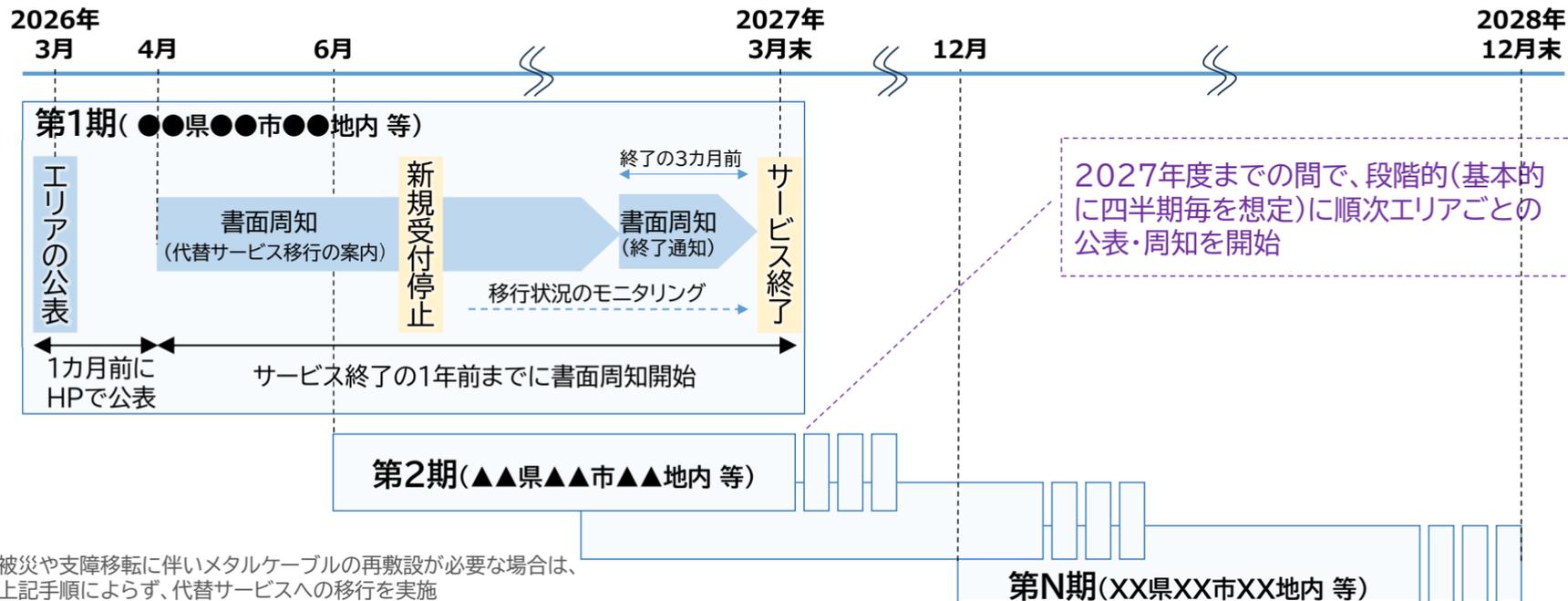


例3)被災・支障移転等でメタル設備の再敷設が必要となったエリア



先行実施対象エリアにおける移行手順のイメージ

- 段階的(基本的に四半期毎を想定)に順次エリアごとの公表・周知を開始
- 各エリアでは、サービス終了の1年前までに、対象のお客様へ複数回の書面周知を通じ、代替サービスへの移行に係るスケジュールや手続き等を丁寧に説明(書面送付開始の1カ月前にHP上で対象エリアを広く公表)
- 移行状況のモニタリングを通じて、先行実施を進めながら知見を蓄積し、移行方法(周知等)の改善を随時実施



被災や支障移転に伴いメタルケーブルの再敷設が必要な場合は、上記手順によらず、代替サービスへの移行を実施

(参考)ユーザの移行手順イメージ

■ユーザの移行手順

- ① 書面通知受領・認知 (2026. 4～)
- ② 代替サービス検討期間
- ③ 代替サービス移行申込・開通日決定
- ④ 開通納期(標準1～2か月)[※]
- ⑤ 加入電話廃止・代替サービス移行

①～⑤の対応に、標準1～2か月+ α (検討期間)を要すると想定



※ 光サービス(光回線電話・フレッツ光)の標準的な開通納期。設備状況や工事稼働の状況によって変動。
ワイヤレス固定電話の場合は、標準で1～2週間程度

先行実施エリアの選定の考え方及び実施規模・単位(予定)

【先行実施エリア選定の考え方】

① メタル設備老朽化エリア／遠距離等で保守に支障があるエリア等

5～10万回線(NTT東西計)の移行をめざす(内訳以下)

第1期(2026年3月に公表 2027年3月末までに移行対応を実施)として、約80エリア、約300回線を予定

実施単位は、お客様のわかりやすさの観点から、老朽化設備等による提供エリアを含む町丁目を基本とする(当該町丁目のお客様が多い場合等には、町丁目の一部とする場合もある)

	①エリア合計		再掲)第一期(2026年3月公表予定)	
	エリア数	対象回線数	エリア数	対象回線数
メタルケーブル等の保守困難 エリア	約1,000エリア	約5～10万回線 (概ね200回線/1エリア)	約80エリア	約300回線 (概ね5回線/1エリア)
局外収容装置の維持困難 エリア(都市部含む)	約1,000エリア		— (第2期以降で実施)	— (第2期以降で実施)

上記の他、被災や支障移転に伴いメタルケーブルの再敷設が必要な場合は、適宜、代替サービスへの移行を実施

先行実施エリアの選定の考え方及び実施規模・単位(予定)

【先行実施エリア選定の考え方】

② 主に都市部において、2028年度頃開始予定のエリア毎の段階的な移行に向けて、以下のような課題の洗い出しと対策検討を目的に、先行的に検証を実施【検討中】

- ✓ 自治体等のステークホルダーと連携した計画的な移行対応
(自治体資産の光ファイバを用いて光ブロードバンド/電話サービスを提供しているエリア等)
- ✓ 光配線NGビルにおけるワイヤレス固定電話による移行対応
- ✓ 法人ユーザの当該エリア内拠点のみの先行移行の可否
- ✓ 移行に要する工事稼働状況の確認・稼働確保

・ 具体的な対象エリアや規模等については、今後、検討状況や自治体等との調整状況を踏まえ、明らかにしていく